

10月4日(金)

国際交流基金賞・国際交流奨励賞授賞式

(東京全日空ホテル)



授賞式・壇上にて
(全受賞者、川口外務大臣、
石井座長、藤井理事長)



レセプション会場—皇太子同妃両殿下と
歓談する受賞者



受賞者への祝辞を述べる川口外務大臣



授賞式会場での皇太子同妃両殿下

当基金設立30周年記念事業として、平成14年度国際交流基金賞・国際交流奨励賞授賞式を東京全日空ホテルにて行いました。当日は、皇太子同妃両殿下、高円宮同妃両殿下、川口順子外務大臣のご臨席を得て、400名余の方々のご来場をいただきました。

授賞式は藤井宏昭理事長による開会の辞につづき、皇太子殿下のお言葉を戴きました。次に川口外務大臣の祝辞、選考委員会座長の石井米雄神田外語大学学長による受賞者紹介、表彰式と受賞者のスピーチがあり、その後、受賞者を囲んで、受賞記念レセプションが和やかな雰囲気なかで行われました。

今年度の国際交流基金賞は、大岡信氏(詩人・日本)、ジェラルド・L・カーティス氏(コロンビア大学教授・米国)が、国際交流奨励賞は、タイ国元日本留学生協会(タイ)、東京YWCA「留学生の母親」運動(日本)およびワルシャワ大学東洋学研究所日本韓国学科(ポーランド)が受賞されました。

受賞者スピーチについては、当基金ホームページに掲載しています。

(URL: www.jpf.go.jp/)



大岡信氏



ジェラルド・L・カーティス氏



東京YWCA
「留学生の母親」運動委員長
梅本弘子氏



タイ国元日本留学生協会会長
チャッチャイクム サップ氏



ワルシャワ大学東洋学研究所
日本韓国学科長
ミコワイ・メラノヴィチ氏

9月1日(日)~16日(月)

邦楽・中国公演

(天津、北京、上海、南京、広州)



日中国交正常化30周年・国際交流基金設立30周年記念事業として、9月1日(日)から16日(月)にかけて中国にて邦楽公演を行いました。天津(天津賓館中劇場)、北京(朝陽区文化館)、上海(上海市政治協商会議内ホール)、南京(南京文化芸術センター大ホール)、広州(白天鵝酒店内ホール)の5都市で公演を行った他、北京では京劇との交流会、上海では上海音楽学院との

共催でレクチャー・コンサートを開きました。日本の伝統的な邦楽と合わせ、他ジャンルとのコラボレーションを図るアーティストによる演奏を組み込み、邦楽の世界を総合的に紹介することを狙いとしました。

各地での公演には、各地の文化人、音楽学校の学生、中国伝統音楽演奏家・教師、外交団等延べ4,000人が鑑賞しました。日本の邦楽に触れるのは初めて、という層が大部分であったためか、公演中は観客席に静寂と緊張感が漂い、終演後にはBGMに合わせて観客全員が手拍子するほどの反応でした。また、公演を行った5都市の全ての主要な新聞・テレビに当公演についての報道がなされました。広州日報の記事は(右カコミ)各地の反応を代表するものです。



「日本古典音楽団公演 中国に源を有する曲目に、観客は親近感を増す」

「～(観客は)日本の伝統音楽の優美な音色、豊かな感情表現が観客を魅了した。中日両国は深い歴史を有しており、日本の伝統音楽と伝統楽器も、多くは中国にその源をたどることができる。今回の公演については、楽器セッションも中国古典楽器から変容したもので、選ばれた曲目もまた、中国の古典音楽を基礎として発展した日本の代表的伝統曲であり、会場の観客は美しい音楽を楽しむと同時に、ひとしお親近感を感じていた。」

9月4日(水)～9日(月)

第15回モスクワ国際ブックフェア

(モスクワ)

9月4日(水)から6日間にわたり、第15回モスクワ国際ブックフェアが全ロシア展覧会センターを会場として開催され、約20万人の来場者で賑わう一大イベントとなりました。当基金も出版文化国際交流会と共同で日本ブースを出展し、日本の出版文化の紹介につとめました。開会初日のオープニングセレモニーにはマトヴィエンコ大統領補佐官が出席し、開催期間中はエリツィン前大統領をはじめ各界の著名人の姿も見られる等、このブックフェアもロシアにおいて確固たる地位を占めた文化行事として定着した感があります。

こうした中で、当基金と出版文化国際交流会の共同ブースでは、日本で出版されている日本関係書籍を中心に、日本語および英語の書籍約500冊を展示したところ、連日、多くの来場者があり、その数は開催期間を通じて約2,000人に達する等大きな反響を得ることができました。写真集や画集等目で見ても分かりやすい書籍が特に人気を集め、分野別では建築・デザイン・美術・工芸等の他に生花・茶道・折り紙にとりわけ興味を示す来場者が多かったことは、これまで日本とは縁のなかった一般の人々の間にも日本文化への関心が芽ばえつつあることの表われと言えます。



その他にも日本語教材関連書籍や武道への問い合わせが寄せられました。展示されている本への購入希望が圧倒的に多く、そのような方々へは日本の出版社の連絡先や、インターネット書店等をご紹介します。共同ブースで展示された書籍は見本市ののちも広く一般の方に利用していただくため、モスクワにある国立外国文献図書館へ寄贈いたしました。



9月12日(木)

公開セミナー

「日米同盟と中国:建設的安全保障関係へ」

(国際交流基金国際会議場)



9月12日(木)国際会議場において「日米同盟と中国:建設的安全保障関係へ」をテーマとする国際セミナーが開催されました(主催:国際交流基金日米センター/ヘンリー・スティムソン・センター、後援:読売新聞社)。

日米同盟の強化と中国に対する建設的関与はアジア太平洋地域の安定を保持する上で中核となる政策ながら、日米両国の対中政策協調が十分でないという両国間に不協和音を生む要因になりかねない、との問題意識から、米国のシンクタンクであるヘンリー・スティムソン・センターのベン・セルフ上級研究員と同志社大学の村田晃嗣教授が中心となって2年にわたり進められてきた共同研究プロジェクト(日米センター助成)の成果発表となったものです。

第一セッションではプロジェクト参加者から個々の研究発表が、続く第二セッションではマイク・モチヅキ、高木誠一郎、ハリー・ハーディング、秋山昌広、五百旗頭真の各氏がプロジェクト・アドバイザーの立場から発言、約200名の聴衆からも熱心な質問が寄せられ、5時間という長さにもかかわらず、活発な討議が行われました。



プロジェクトの研究テーマ・参加研究者

日米同盟と中国:理論的考察

クリストファー・チューミー(ハーバード大学 ヘルパーセンター 研究員)
石川 卓(東洋英和女学院大学 助教授)

中国政策決定過程における国内政治

デレク・ミッチェル(戦略国際問題研究所(CSIS) 国際安全保障部 上級研究員)
辰巳 由紀(戦略国際問題研究所(CSIS) 国際安全保障部 研究員)
笹島 雅彦(読売新聞社 調査研究本部 研究員)

国家戦略政策における中国

ロバート・エルドリッチ(大阪大学国際公共政策研究科 助教授)
村田 晃嗣(同志社大学法学部 助教授(外交史))

中国との日米関係の形態

ベンジャミン・セルフ(ヘンリー・L・スティムソンセンター 上級研究員)
福島 安紀子(総合研究開発機構(NIRA) 主席研究員(セミナーは欠席))



各参加者の執筆論文は日本語版・英語版共にヘンリー・スティムソン・センターのホームページ(<http://www.stimson.org>)でご覧になれます。

海外向けビデオ教材

「日本語教育用 NHKテレビ番組集」

国際交流基金では、NHK番組を利用した日本語教育用ビデオ教材を制作しました。このビデオ教材は、全世界の当基金事務所および事務所のない国については日本大使館に配布してあります。この教材は海外でのみ使用することができ、日本国内では使用することができません。教材概要は次のとおりです。

1. 制作目的

海外の日本語学習者、特に若い世代の日本への関心と現代日本の理解を高めるため、実際の生活で使われている日本語を学習者に提供することを目的に、(財)NHKインターナショナルと共同して制作しました。

2. 教材の構成

ビデオ3巻：1.ドラマ「六番目の小夜子」/2.アニメ「あずきちゃん」/3.「みんなのうた」
(ビデオ1および2にはそれぞれ①字幕なし映像②英語またはスペイン語いずれかの字幕を追加した映像の2篇を収録。)

教材解説書：教師向け指導用参考書で、日本語と英語の対訳。監修は長谷川恒雄慶應義塾大学教授、執筆は土井眞美群馬大学助教授と保坂敏子慶應義塾大学非常勤講師。

3. 使用方法

この教材は日本語教育用として海外で使用することができます。全世界の当基金海外事務所(事務所のない国については日本大使館)を窓口として日本語教育機関に対して貸し出されます。著作権の制限があるため販売は行っておりません。なお、日本国内でこの教材を使用することはできませんが、参考・研究目的のため日本語国際センター図書館等での閲覧は可能です。



日本語国際センター制作事業課 048-834-1183

「寄付金制度」について

経理部資金課 03-5562-3519

当基金では、国際文化交流事業の一層の発展・普及のため、皆様からのご支援をお願いしております。中でも、年会費として一定額以上のご寄付をお願いする会員になっていただきますと、定期刊行物の送付や図書館のご利用、催しへのご案内等、様々な特典がございます。会員制度には「賛助会」(個人一口2万円、団体一口10万円)、「友の会」(個人のみ。一般4千円、学生2千円)の2種類がございます。なお、当基金は特定公益増進法人に指定されており、ご寄付は税制上の優遇措置の対象となります。

新規賛助会員

佐藤 哲夫 様 馬場 英二 様
飯塚 尚弘 様 高田 和子 様
鈴木 滉二郎 様 ヤスミーナ 様
他匿名希望 御1名様